

しせいかい

Shiseikai

新春号
vol.76
2016.2

Contents

- 新しい年によせて
- うるま市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業
- Human History
- 作業療法便り
- ありんくりん

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiawahsp/>

二〇一六年新しい年によせて

医療法人社団志誠会

理事長 小渡 敬



平成二十八年の新春を迎えるにあたり 皆様に謹んでお慶びを
申し上げます

昨年の主な出来事は、安全保障関連法案やTPPの問題については国論を二分するほど大きな議論となりました。最終的に成立しました。今後、これらの法案がどのようになるか注視していきたいと思います。また公職選挙法を70年ぶりに見直し、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる画期的な法案が通過しました。スポーツ面ではラグビー日本代表が強豪・南アフリカと戦い、歴史的勝利を飾り大金星をあげました。得点を連発した五郎丸歩選手のポーズは日本中で大流行しました。一昨年に引き続き、昨年もノーベル賞を大村智先生が生理学・医学賞、梶田隆章先生が物理学賞を受賞し、2年連続日本人が受賞するという快挙を成し遂げました。ノーベル生理学・医学賞については、昭和62年に利根川進先生が免疫の研究、さらに平成24年に山中伸弥先生がIPS細胞の作成、今回の大村先生の受賞で日本人では3名輩出したことにな

ります。日本人として誇らしく思う次第であります。

医療法人社団志誠会平和病院においては、来年で創立30周年を迎えます。それに向けて昨年は各関連施設のリニューアルを行いました。特に介護老人保健施設陽光館の改修工事を行い、利用者がより快適に過ごせるように整備を図りました。また平和病院ではレントゲンやCT、脳波等の医療器機を最新型へ入れ替え、電子カルテの充実を図りました。建物の設備を新調し、居住性を良くすると同時に診断治療技術を高めるのに役立てたいと考えております。

志誠会はこれからも精神医療・福祉、高齢者の医療・介護等の質を高め、患者や利用者に喜んでもらえるようにしたいと考えております。さらに医療や介護を通して地域に貢献できるよう努力したいと考えております。本年も変わらぬご理解・ご協力をお願ひ申し上げます。

新年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

ご存じですか？

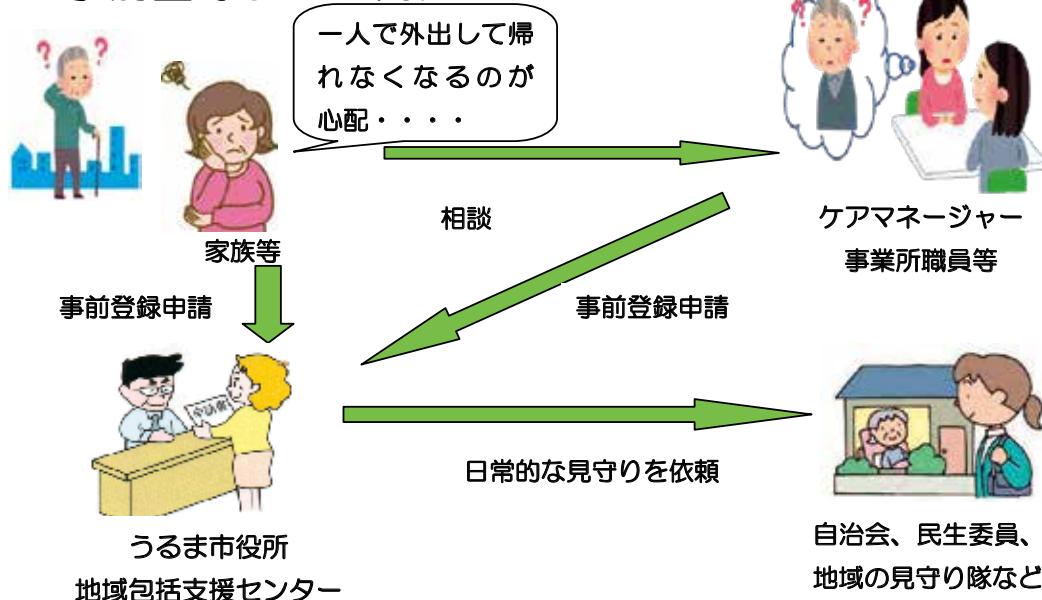
「うるま市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業」

今回の特集では、うるま市認知症高齢者等見守りSOSネットワークシステムについてご紹介します。

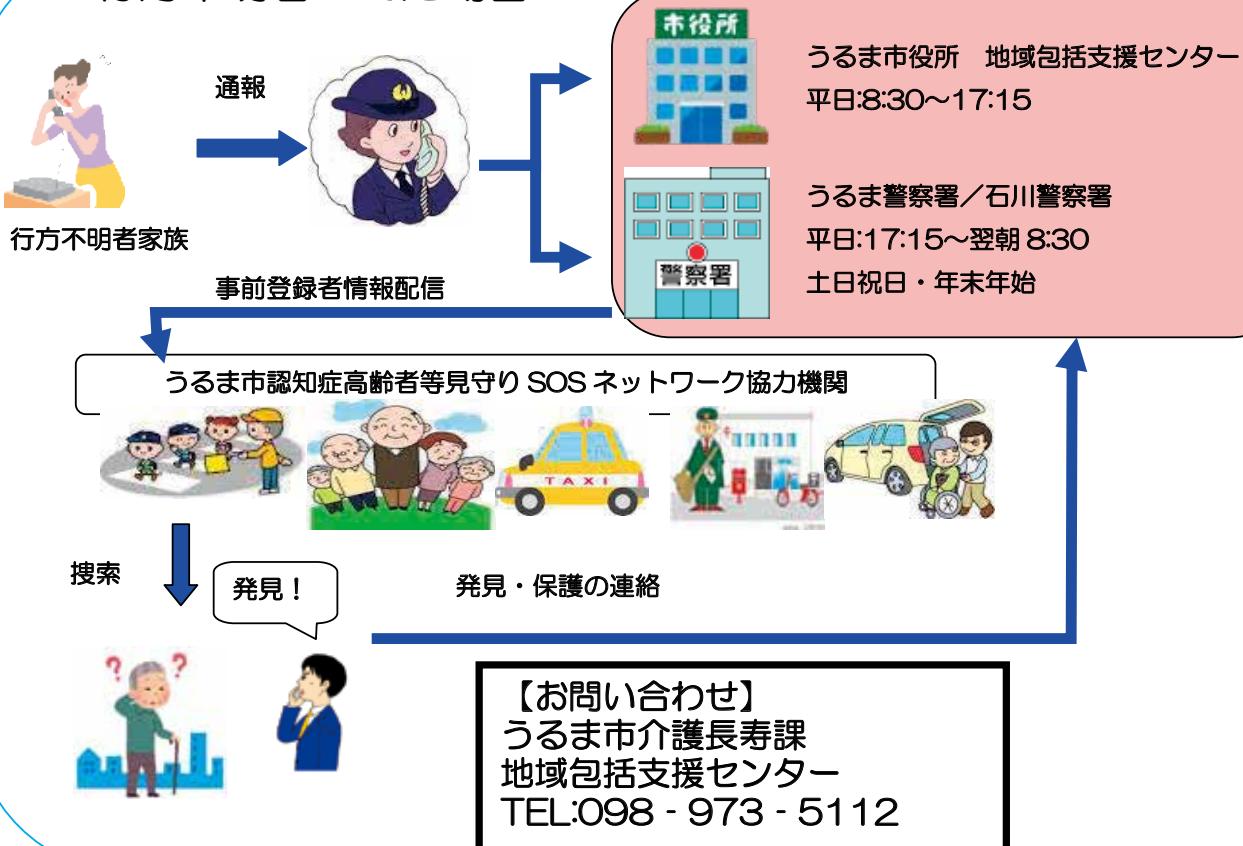
うるま市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業

認知症の症状などが原因で外出し、道に迷い自宅に帰れなくなった方などが行方不明になった場合、地域の協力を得て早期に発見できるような体制づくりを目的としています。事前登録や搜索協力機関を募集しています。詳しくはホームページまたは介護長寿課地域包括支援センターまでお問い合わせください。

事前登録までの流れ



行方不明者がでた場合



～Human History～

施設は天国だけど、
一人暮らしは本当の自分の人生だった



プロフィール

Tさん（50代・男性）

★疾患：統合失調症

(入院歴6回、のべ10年→社会復帰施設入所8年)

★趣味：テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること
海を見に行くこと

- ・一人暮らしを1年以上継続。
- ・週に4回の就労訓練をこなしている。
- ・訪問看護やホームヘルパーなど地域の資源や制度を活用しながら自炊生活。

（現在）

「壮年時代」

- ・平和病院の社会復帰施設に入所。
- ・主に食品加工を行う事業所で就労訓練をスタートさせる。
- ・精神科に入退院を繰り返すようになる。

国は「精神科長期療養患者の地域移行」を進めていますが、これまで10年、20年と長い間社会と離れた生活を送ってきた療養者たちにとって、地元や地域に戻って自分が暮らしていく頃との変化に戸惑い、誰にも相談できずに引きこもり病状悪化に繋がってしまうケースも少なくありません。

また、長年の入院生活によつて日常生活 자체が難しくなっていることもあります。バスの乗り方、スーパーでの買い物、外食の仕方など何気ない普段の生活の方がわからぬ、といった生活そのもののしづらさもあり、退院しても再入院を繰り返してしまう現状があります。

今回、一人暮らしを始めたTさんに生活の変化について話を伺いました。

な社会復帰が難しい中、それでも着実に、地域に根を張り自分の人生を歩み始めた人もいます。

- ・友達が多い。
- ・成績は普通。
- ・アルバイトもしながら学生生活を楽しむ。
- ・交通事故を起こして途中退学。

「青年時代」

国は「精神科長期療養患者の地域移行」を進めていますが、長年の入院生活によつて日常生活 자체が難しくなっていることもあります。バスの乗り方、スーパーでの買い物、外食の仕方など何気ない普段の生活の方がわからぬ、といった生活そのもののしづらさもあり、退院しても再入院を繰り返してしまう現状があります。

な社会復帰が難しい中、それでも着実に、地域に根を張り自分の人生を歩み始めた人もいます。

Tさんヒストリー

「幼少時代」



・明るく、人なつこい性格。

「学生時代」

- ・友達が多い。
- ・成績は普通。
- ・アルバイトもしながら学生生活を楽しむ。
- ・交通事故を起こして途中退学。

昔の自分に言いたい

「甘えるな、ばかやろう」

インタビュアー（以下・イ）.. ながー

い入院生活・施設生活を経て、今は一人暮らしをされてるんですね。今までとは全く環境が違うと思いま

すが、どうですか？

Tさん（以下・T）.. 自分でなんでもやらないといけないので疲れます（笑）。役所に行ったり手続きするのも最初は嫌だったけど、やつたら充

実感がある。クリアできたら楽しくなって、やる気がわきますね。

イ.. 病院や施設では職員がいて、相談できるけど一人暮らしだとそういうかないですもんね。

T.. 前は自分の考えがまとまつてもいいいうちに「体調が悪い」とか言って職員に頼つてましたね。今は「一人暮らしなんだから自分でやらないと」って。上手くいかない時は「施設に戻りたい」って思うこともありますよ。

イ.. 地域から施設に戻りたいですか？（笑）

T.. 一人だと自分がやらないと前に

進まないんですよ。職員に相談したいけど、いない。全部自分の責任。施設は天国でした。でもどんなにきつても一人暮らし自分が本当の人生です。

るんだし、隠さないようになつたら気が楽になりました。

イ.. 隠さないようになつたのはどん

な心境の変化？

T.. 病気は恥ずかしいことじゃない。

「先生が治してくれない」ってちらほら聞くけど、先生にだつて治せない病気。でも「自分は病気だけどここまでできるんだ」って思います。

掃除・仕事で悩む時間ないです。

イ.. ありがとうございます。最後にこれから目標を教えてください。

T.. 1日1日を一生懸命生きるだけです。今、生きてるのを感じます。

指導員の声

「自分は病気だけど、ここまでできるんだ！」



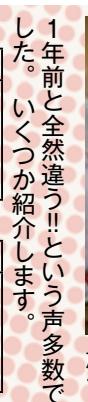
変化

1年前

- ・変化に弱かったです。
- ・電気料金の支払いをするために仕事を1日休むような状態でした。

現在

- ・自然に両立できています。
- ・融通が利くようになります。



1年前と全然違う!!という声多数でした。いくつか紹介します。

1年前

- ・わからないことがあると「わからないから」で終わらせてしまう感じでした。

現在

- ・「どうしたらいいですか?」と自分で聞くようになりました。
- ・体調不良で休んでも「代わりに明日出ます」と言ってくれます。

施設時代から就労訓練の現場で関わっている指導員より。

～革細工の効果～



今回は、手芸を行うグループや急性期のリハビリメニューとして用いられている『革細工』について紹介したいと思います。

『革細工』は、一枚の牛革から作品に使う分の革を切り出し、型紙に沿って切り出した革に模様を打ち込んで色づけした後、一つ一つ革紐で縫いつけて完成させます。

さて、この革細工が、一体どのように治療やリハビリとして活用できるのでしょうか？



1. 誰にでもできて見栄えが良いから、やる気ができる！

特別な技術は必要としないので、年齢や性別に関係なく提供できます。

また革の作品は見栄えも良いので、作業する事への意欲も高まります。

2. 適度な疲れと休息を感じる事ができる！

革に模様を打ち込む作業を“刻印打ち”と呼びます。特に急性期で不安感の強い方達は、この“打ち込む”という作業を行う事でイライラしている気持ちを落ち着けたり、一つの単純な作業を默々と繰り返す事で、まとまりのなかった思考を休める事にもなります。

3. 作業能力のリハビリや評価ができる！

回復期では、ペンケースや小銭入れなど少し複雑な作品を作ることにより、注意力・集中力・持続力・企画力を回復させたり、作業能力の評価にもなります。

4. 交流技能を高める！

難しい作品になればなるほど、作業内容の確認や職員の助言が必要になってくるので、コミュニケーション能力の改善が期待できます。

5. 自信の回復や賞賛を得る機会になる！

綺麗な作品が出来上がればやり遂げた達成感や充実感を持つことができ、作品を周りから褒められたり家族にプレゼントして感謝されることで、賞賛を得る事ができます。

一方革細工には、“一度作業を進めてしまうとやり直しがきかない”という特徴もあります。しかし私たち作業療法士は、このネガティブとも思える特徴も利用します。

①ミスをした時の対処の仕方を評価できる。(投げ出すのか？修正するのか？)

②「ミスできない」という緊張感やストレスを感じる事が出来る。(適度な緊張やストレスは、本人に良い影響を与えます)

色々な場面で応用できる革細工。こうしてまとめてみると、改めて「奥深いな」と実感しました。革細工だけではありませんが、それぞれの作業の特徴を意識しながら、その方に合った作業を今後も提供していきたいと思います。まだまだ、勉強不足な点も多々ありますが、今後も、復習・勉強していきながら頑張っていきたいと思っています。

この冬の

ありんくりん



Merry Christmas

平成27年12月16日(水)、日頃お世話になっている地域ボランティアの新里さん、具志堅さん、運営推進会議委員の幸喜さん、仲本さんをご招待し、あおば邸でクリスマス会を盛大に行いました。今回、上江洲地区にある自由の森保育園の学童さん12名と保育士さん3名が踊りを披露しクリスマス会を大いに盛り上げて下さいました。



平成27年度 沖縄県医師会永年勤続医療従事者表彰

平成27年11月20日(金)、沖縄県医師会主催の永年勤続医療従事者表彰式が行われました。この賞は、同一医療機関・施設に20年以上勤務し、長年にわたり施設の発展に貢献した職員へ与えられるものです。今回は、平和病院と陽光館から各2名の職員が表彰されました。表彰された皆さんのさらなるご活躍を期待しています。



就労訓練工場が琉球新報に掲載

昨年12月31日付けの琉球新報内において、『地域との相互理解へ』と題し、当院併設の就労訓練工場「しせいかい」の取り組みが掲載されました。就労訓練工場では、毎年、上江洲区の子ども達とのパン作り体験をとおして地域交流を図っています。今回も多くの子ども達が参加してくれており、今後も継続していきたいと思います。



地域との相互理解へ




 精神科・心療内科・内科
平和病院
 病床数：212床（内 指定病床17床）

急急性期治療病棟 精神療養病棟 精神科訪問看護 精神科デイ・ケア
 受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00
 日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）
 電話:098-973-2000 住所:うるま市字上江洲665番地

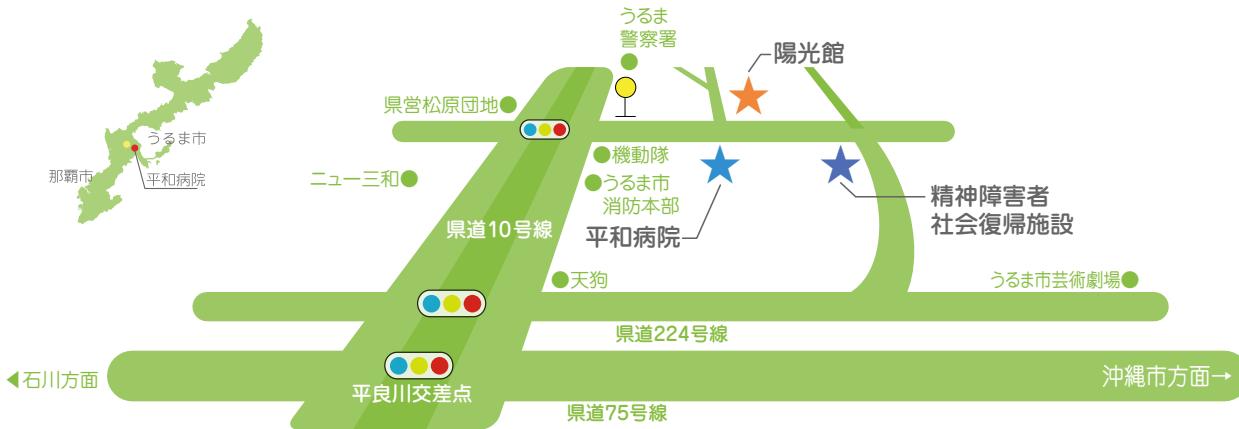

 介護老人保健施設
陽光館
 入所定員：140床（認知症専門棟40床）

介護老人保健施設陽光館入所 デイケアセンター陽光館 ホームヘルプサービスセンター陽光館
 居宅介護支援事業所陽光館 短期入所療養施設陽光館
 認知症グループホームあおば邸 高齢者相談センター具志川ひがし
 受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館
 電話:098-974-4000 住所:うるま市字上江洲661番地


 精神障害者社会復帰施設

グループホームしせいかい（外部サービス利用型共同生活援助）
 自立訓練事業所しせいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練）
 就労訓練工場しせいかい（多機能型）（就労移行支援・就労継続支援B型）

各施設へのアクセス



編集後記

今回の表紙は2015年新春号に引き続き、昨年の振り返りとしてコラージュ写真を作成しました。あっという間の1年でしたが、写真一つ一つにいろいろなエピソードが詰まっています。文章では表し切れない思いを感じ取って頂ければと思います。

今回は、Human Historyと題して療養者が退院後、地域で働く姿をインタビュー形式で掲載しています。ほか「作業療法便り」では革細工を使ったリハビリの様子を掲載しています。ぜひご一読いただければと思います。

広報誌委員会では、今年も各施設のニュースやトピックスをいろんな視点からお届けしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

山本 久美子